

**AIを使った新しいイベントの作り方
～AI翻訳で実現する共創の未来～**

**パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社
三井情報株式会社
Wordly, Inc.**



本セミナーでは**ビジネスの現場でAIリアルタイム翻訳を活用したい**とお考えの皆様に向け「**選定のポイント**」、「**翻訳の特長(製品特徴)**」、「**使いこなし**」をテーマにAIリアルタイム翻訳について実演を交えて解説いたします。



AIリアルタイム
翻訳ツールって
何を基準にどう選べばいい
んだろう？



実際に使えるレベルで
翻訳させることができるの
だろうか？



使いこなすためには
どのような準備が必要
なんだろう？



山下 裕生



↑ 名刺交換をお願いします

パナソニックインフォメーションシステムズ株式会社
東日本ソリューション営業部 東日本第2営業所

民間企業向けのソリューション営業として、
100社以上のお客様の課題をシステムで解決。
パナソニックISにおけるWordlyの第一人者として様々なイベントでの利用支援。

「無理に売るな。客の好むものも売るな。客のためになるものを売れ。」
をモットーに日々営業活動を行っている。

[RX Japan株式会社様 | 事例 | パナソニック インフォメーションシステムズ](#)

パナソニックグループでの挑戦を通じ、B2B市場へ価値を提供



パナソニックグループの IT戦略をグローバルで支援

パナソニックグループのグローバルにおけるビジネスと経営をITで支え、Panasonic Transformation (PX)を推進しています。

データ統合・活用

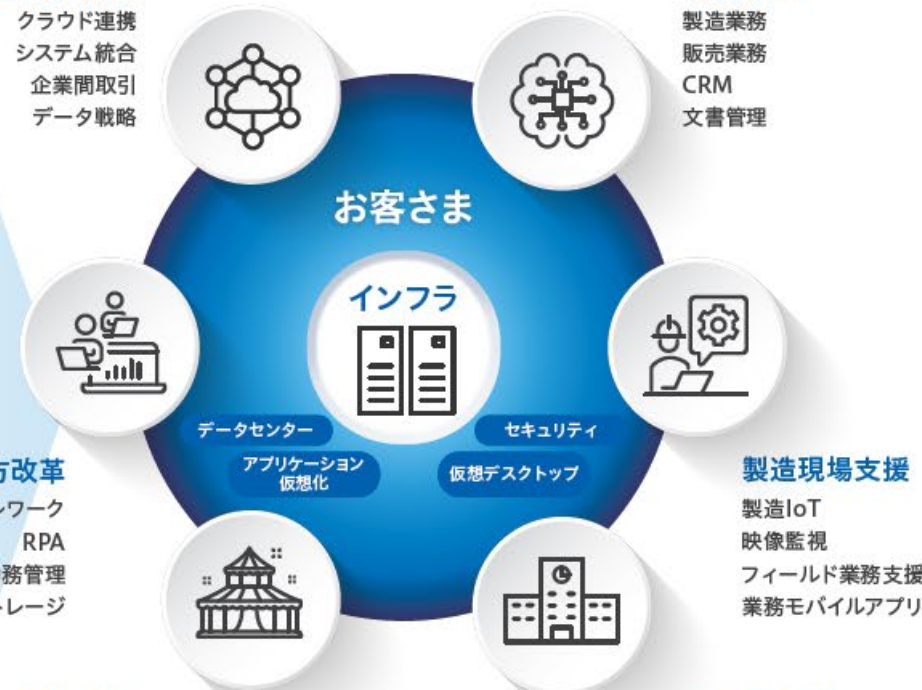
クラウド連携
システム統合
企業間取引
データ戦略

基幹業務

製造業務
販売業務
CRM
文書管理

働き方改革

テレワーク
RPA
勤務管理
クラウドストレージ



施設空間

チケットイング
POS
会員管理
データ分析

自己紹介 (大山 浩司)



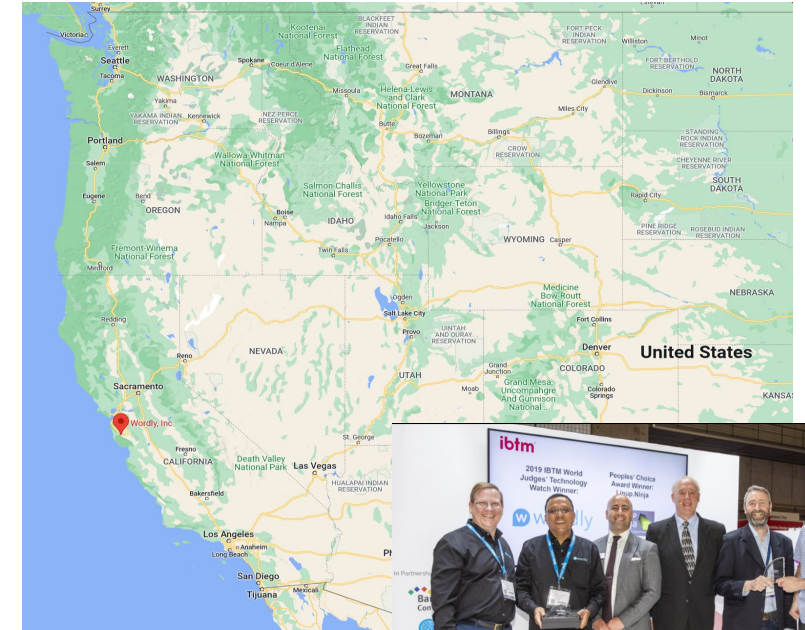
大山 浩司 (おおやま こうじ)

- 米国シリコンバレーに本社を置くWordly社に在籍
- 東京に在住し、日本やアジアのお客様がWordlyを導入するのをサポート
- 日本のセールス・サポートの代表者
- 日本市場にAIリアルタイム翻訳サービスを普及させるために2022年から活動中
- 趣味: 海外旅行, カレー作り

Wordly 会社紹介



- 社名 : Wordly, Inc. (ワードリー)
- ホームページ: <https://wordly.ai/>
- 所在地: アメリカ カリフォルニア州
ロス・アルトス市
(シリコンバレー / SF Bay Area)
- 代表者: ラクシュマン・ラスナム (CEO)
- 会社設立年: 2017年 → 2019年 Wordlyサービス開始
- 受賞歴: Skift Event Technology Award (2023年)
Plug & Play Japan (2021年) など多数
<https://www.wordly.ai/company/industry-awards>



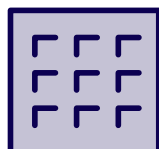


小林 七海

三井情報株式会社
共創営業本部 パートナー営業部 第二営業室

三井情報株式会社（以下、MKI）において、SaaS製品のパートナーセールスに従事。主力商材として、MKIが国内総代理店を務めるAI通訳ソリューション“Wordly”や法人向けファイル共有基盤の“Box”などのクラウドサービスを提案。

設立年



1991年

前身の三井情報開発（株）
設立（1967）から50年以上

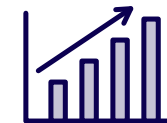
資本金



41.1億円

2024年3月末現在

売上高(連結)



1,094億円

2024年3月期実績 連結

従業員数(連結)



2,671名

2024年3月末現在

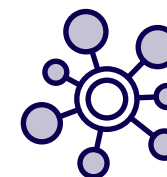
国内外拠点数



19拠点

国内 13拠点
海外 6拠点

関係会社

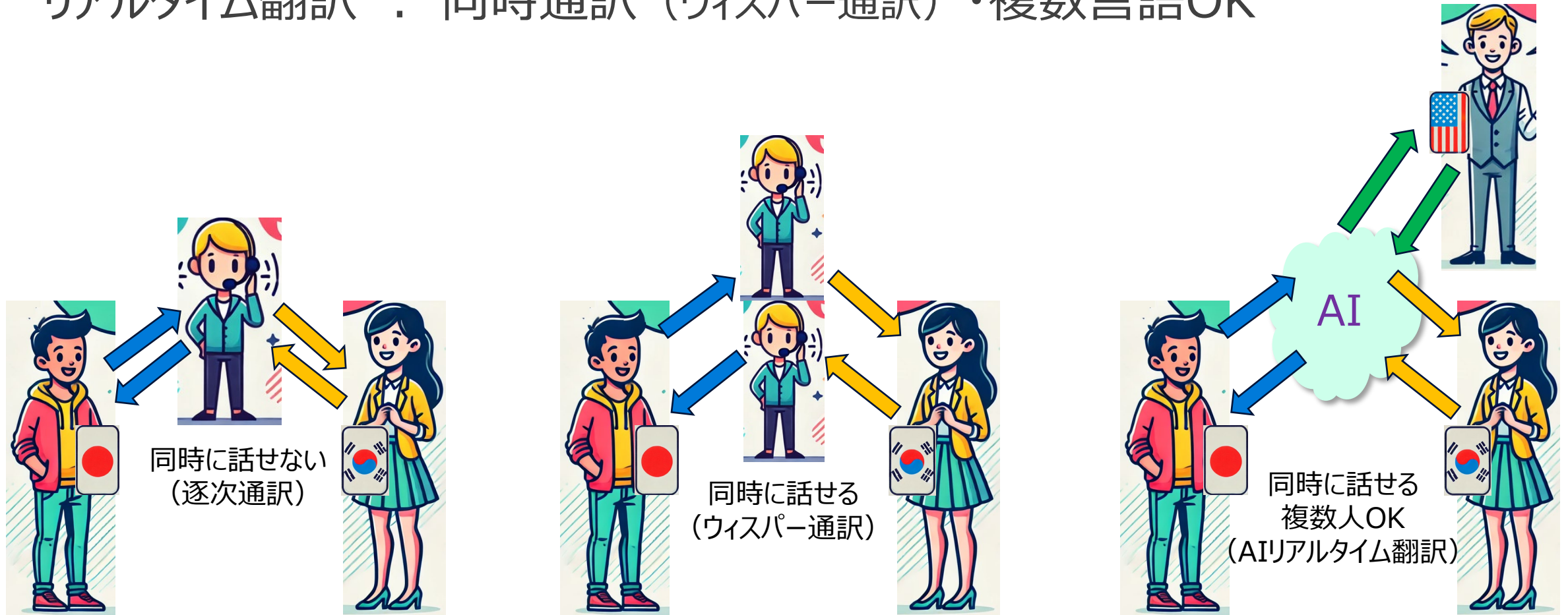


7社

- MKI テクノロジーズ株式会社
- MKI IT SOLUTIONS (ASIA PACIFIC) PTE. LTD.
- MKI (U.S.A.), INC. ●MKI (U.K.), LTD
- 株式会社イットソフトウェア ●株式会社メビウス
- 株式会社BlueMeme

AIシステム : 24時間365日ネット空間を検索して学習し利用できる通訳者

リアルタイム翻訳 : 同時通訳 (ウィスパー通訳) ・複数言語OK





ビジネスのグローバル化

国際会議や商談での
円滑なコミュニケーション



観光業の発展

外国人観光客との
コミュニケーション

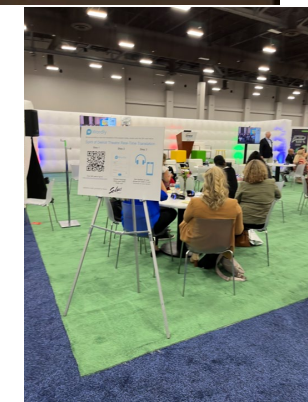
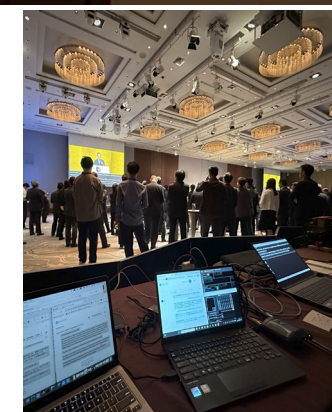
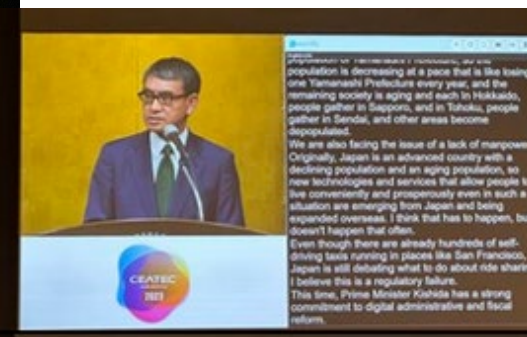
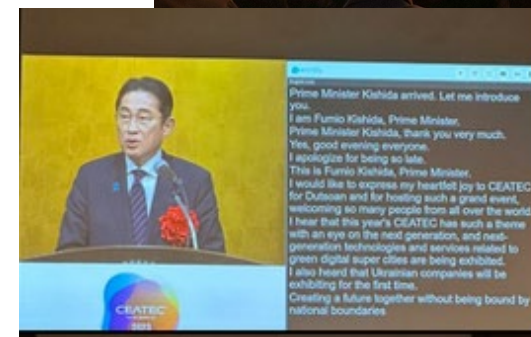
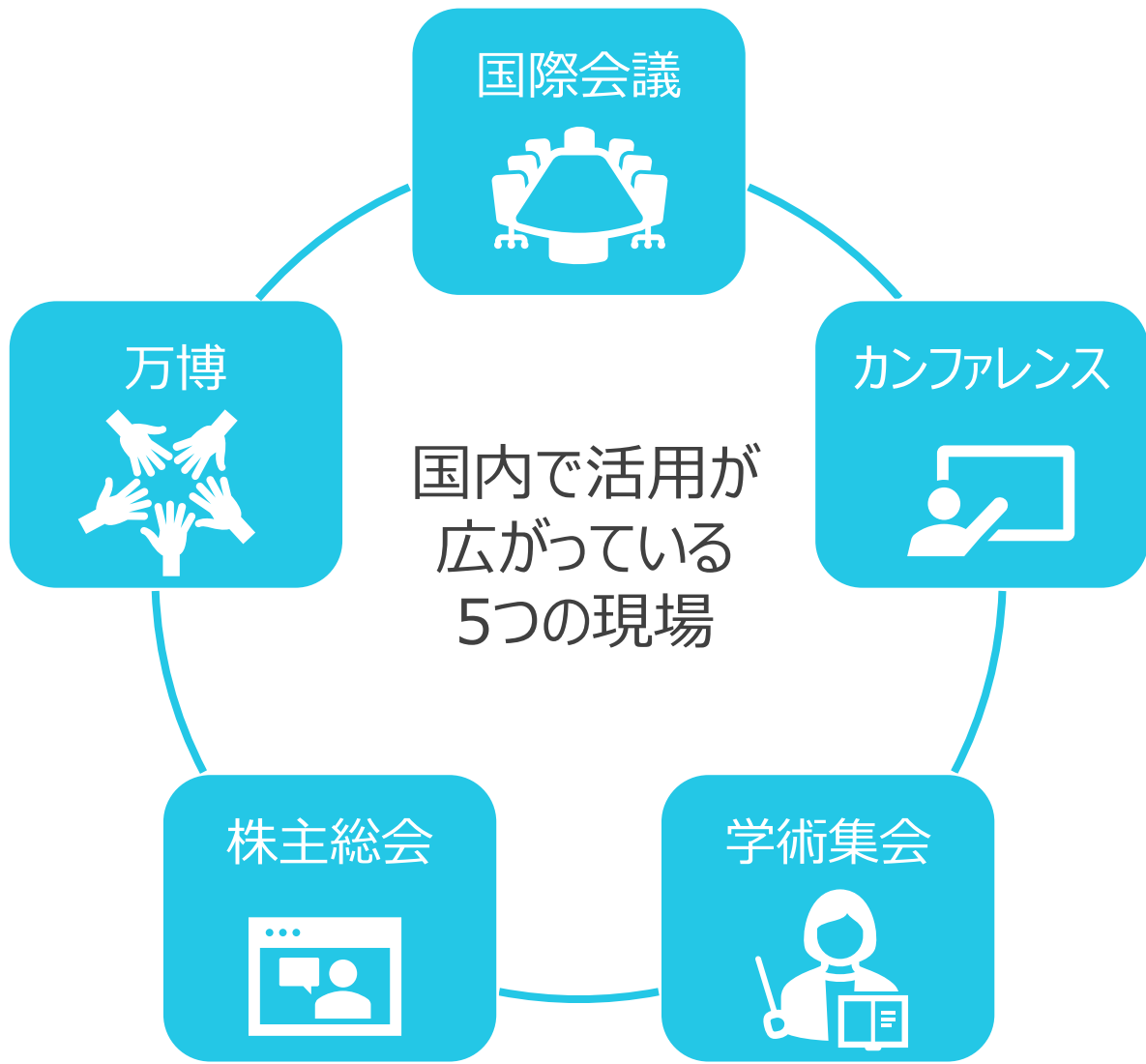


教育

留学生や外国人講師との
コミュニケーション

日常生活の中で「**言語の壁**」を感じる機会が増えてきた
ITを活用し言語の壁を下げるが必要となってきた。

世界的にはAIリアルタイム翻訳が「**当たり前**」に



ポイント解説



1

AIリアルタイム翻訳ツール選定のポイントは？

2

Wordlyの特長・強みは？

3

Wordlyをより効果的に使うためには？

1 AIリアルタイム翻訳ツール選定のポイントは？

2 Wordlyの特長・強みは？

3 Wordlyをより効果的に使うためには？

ツール選定の際には【製品特性】と【ベンダー特性】の2軸で判断が必要

翻訳の
精度・速さ

セキュリ
ティー

運用支援

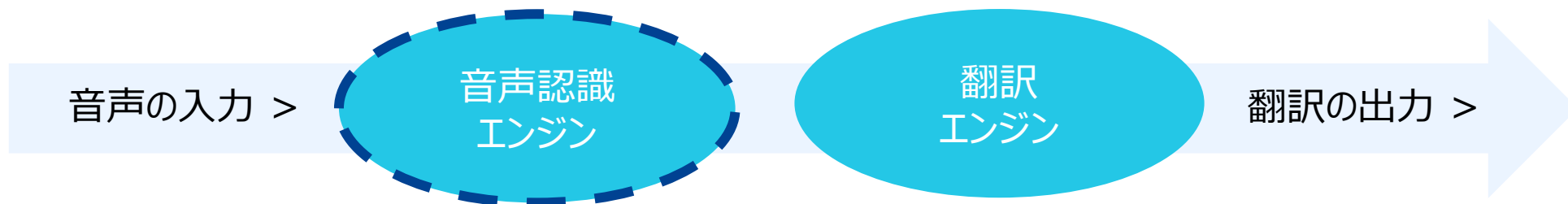
対応言語数

使い勝手

費用

仕組みを知って、実際の利用シーンを確認・テストユースしての判断が必須

【AIリアルタイム翻訳が行われるまでの機能的な流れ】



	音声認識エンジン	翻訳エンジン
翻訳精度	<ul style="list-style-type: none"> 入力された音声を正しく認識できる 	<ul style="list-style-type: none"> 文脈を理解した翻訳ができる 専門用語へ対応できる
翻訳の速さ	<ul style="list-style-type: none"> エンジンのアルゴリズム 学習量 	<ul style="list-style-type: none"> エンジンのアルゴリズム 学習量

カタログスペックだけでなく、制限事項がないかの確認が必須

対応言語

- 認識言語：〇〇言語
- 翻訳言語：〇〇言語

翻訳結果表示のみ対応の言語が
一定数存在

言語切り替え

- 認識言語：××言語まで
- 翻訳言語：××言語まで

認識言語・翻訳言語の切り替えに
制限があるプランが存在

利用シーンに適したセキュリティーが担保されているか
【システムのセキュリティー】と「AI学習」の2つの観点で確認

システムのセキュリティー



- ・アクセス方法
- ・可用性
- ・完全性
- ・機密保持
- ・プライバシー

AI学習



- ・入力データの学習への
利用可否

【管理者】と【ユーザー】それぞれの目線で確認が必要

使いやすさ

ユーザー目線

- 簡単操作
- 自身の母国語が選択可能
- AI学習による高度な通訳品質

管理者様目線

- 簡単設定
- 汎用的に使えるか？
- 機材の手配のしやすさ
- 24時間365日利用可能

自社で運用を行いたいのか、外部に運用を委託したいのか
それぞれのメリット・デメリット、自社の状況を見極めて判断が必要

	メリット	デメリット
自社で運用	<ul style="list-style-type: none">・柔軟に利用ができる・外部との事前調整が不要・コストが小さい・外部依存にならない	<ul style="list-style-type: none">・ノウハウ蓄積が必要・マニュアルの用意が必要・当日の運用者が必須
外部に運用委託	<ul style="list-style-type: none">・知識は特に不要・マニュアル等の容易も不要・自社から運用者の選出が不要	<ul style="list-style-type: none">・イベント単位での利用に限る・運用会社との事前整合が必要・コストが大きい・ベンダー依存になる

製品を見極めて、自社で運用できそうなものを選ぶのがベター

課金体系により、「流用活用の可否」を見極め全体的な費用対効果を検討



時間課金

VS



イベント課金

別の現場への流用も可能	メリット	追加での費用が発生しない
テスト時間も費用が発生	デメリット	別の現場への流用ができない

1 AIリアルタイム翻訳ツール選定のポイントは？

2 Wordlyの特長・強みは？

3 Wordlyをより効果的に使うためには？

複数言語を同時通訳できるクラウドサービス

1 Wordlyの機能

・WebブラウザまたはZoomやCisco Webex等と連携して発話者が話す言語をユーザが希望する言語に翻訳します。

リアルタイムでAIが通訳

- ✓ 60言語以上に同時通訳
- ✓ 通訳結果はリアルタイムでテキスト表示

面倒な操作は一切不要

- ✓ 好きな言語をユーザーが自分でセレクトできる
- ✓ アプリのインストールは不要、主催者から共有されたURLにアクセスするだけ

いつもの言語で話す



好きな言語で聞く



2 Wordlyの特長

60言語以上への通訳

24時間365日、60言語以上から好きな言語に通訳することができます。

文字起こし

通訳された言葉はリアルタイムで文字起こしがされます。ミーティング後にダウンロードすることも可能です。

カスタム辞書

人名や製品名等の固有名詞を辞書に登録することで、通訳の精度を向上させることができます。

簡易な参加

専用アプリのインストールが不要でブラウザから利用。参加者はURLをクリックするだけでWordlyミーティングに参加可能です。

導入企業 1500 以上

Wordlyが解決する課題

- ・通訳は高額で手配が大変、通訳機も使いづらい
- ・Web会議で、外国語ができメンバーに業務集中
- ・語学が苦手なMTGが進まない、時間がかかる
- ・語学の壁で海外にビジネスを拡げられない

Wordlyの強み

AIリアルタイム翻訳のパイオニア



AIの学習量が多く
「精度が良い」
「速い」
「使いやすい」

1,500社以上と取引
60以上の国で利用
400万以上のユーザ数
6億分/1,000万時間
/41万日/1,140年以上の翻訳

ツール選定の際には【製品特性】と【ベンダー特性】の2軸で判断が必要

翻訳の
精度・速さ

セキュリ
ティー

運用支援

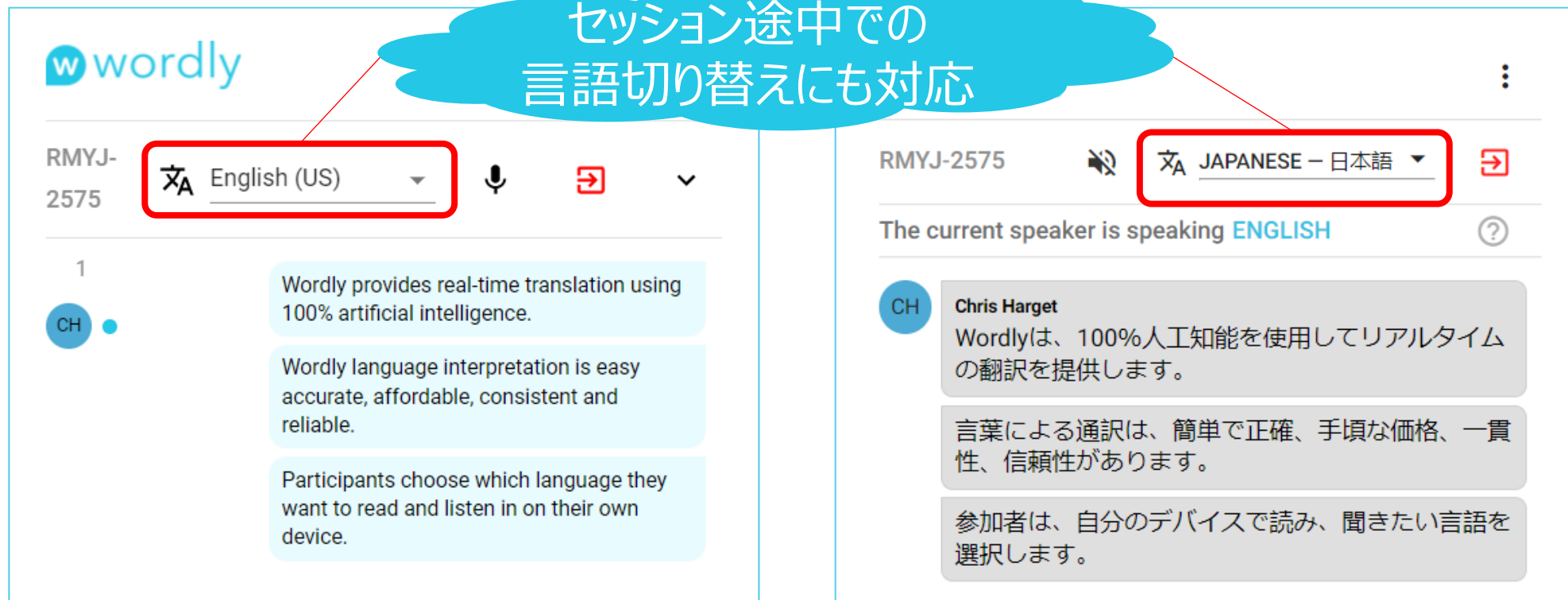
対応言語数

使い勝手

費用

百聞は一見に如かず
実際の画面を見てみましょう！

24時間365日、いつでも60以上の好きな言語に翻訳



対応言語(60+言語)

日本語, 英語, 中国語(簡体字/繁体字), 広東語, 韓国語, アフリカンス語, アラビア語, アルバニア語, イタリア語, インドネシア語, ウェールズ語, エストニア語, オランダ語, ギリシャ語, グジャラート語, クロアチア語, スウェーデン語, スペイン語, スロバキア語, スロベニア語, セルビア語, タイ語, チェコ語, デンマーク語, ドイツ語, トルコ語, ノルウェー語, ハンガリー語, ヒンディー語, フィンランド語, フランス語, ブルガリア語, ベトナム語, ヘブライ語, ベンガル語, ポーランド語, ポルトガル語, マルタ語, マレー語, ラトビア語, リトアニア語, ルーマニア語, ロシア語

アイリッシュ語, ウクライナ語, ウルドゥー語, スワヒリ語, タガログ語, タミル語, パンジャブ語, ペルシャ語 ※ターゲット言語 (通訳先の言語)としてのみ対応

<https://www.wordly.ai/language-interpretation>



SOC 2 Type 2 準拠のセキュリティ対策

- Wordlyは、SOC 2 Type 2 準拠のセキュリティ対策をしています。
- 全てのデータ保管、転送は暗号化されており、データ接続はTLS 1.2以上での接続が必須です。

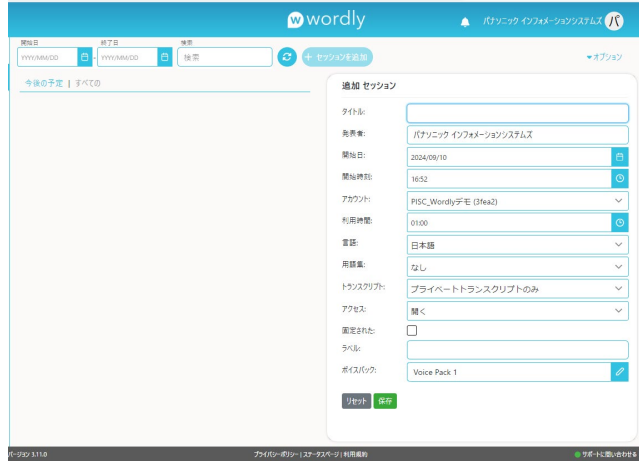


顧客データをAI学習に利用しません

- Wordlyは、音声認識・翻訳モデルのAI学習にお客様の会議やイベントのデータを使用しません。
- トランスクリプトの保存有無、削除も会議単位で管理者が設定可能です。

詳細 : <https://www.wordly.ai/wordly-security>

簡単3ステップ。直感的なUIで管理者・ユーザーともに操作に迷うことなし！



利用内容に応じたセッションの登録

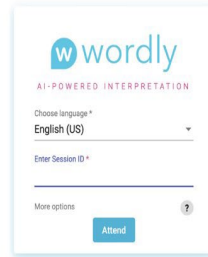
管理者操作

Step 1



Scan QR Code or Go To:
<https://attend.wordly.ai/join/TUGR-1091>

Step 2



Choose Language
Click Attend

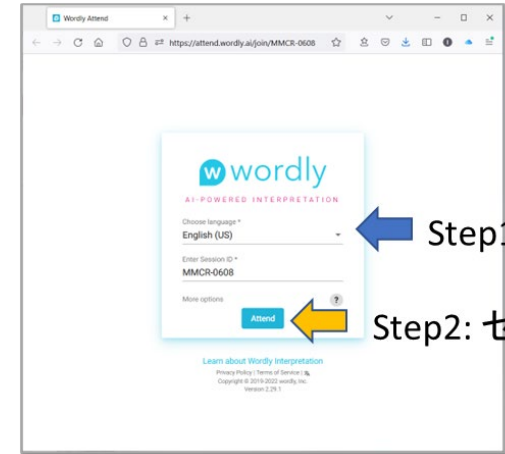
Step 3



Read Captions on Device
Use Headset for Audio

発行された参加者ショートカットをユーザーに配布

ユーザー操作



Step1: 言語を選択
Step2: セッションに参加

URLにアクセスし翻訳結果としてみたい言語を選択・参加

MKI独自のサポート制度

サポートデスク(無償)

MEDACAヘルプデスク
【専用Webフォーム】受付時間は24時間365日、
対応時間は平日9:00～17:00
※平日…年未年始、土日祝を除く弊社営業日

マニュアル(無償)

日本語版 利用マニュアル

プラン	最大参加人数	単価
Small	50名/会議	¥36,000/H
Medium	500名/会議	¥68,000/H
Large	2,500名/会議	¥100,000/H
Extra Large	10,000名/会議	¥136,000/H

契約形態

- 最低購入単位は10H～となります。
- 1社にて複数アカウントを契約いただくことは可能です。
- 実際に使用された分数に基づいて課金されます。セッションを終了するか、スピーカーがマイクをミュートすると、分数の請求が停止します。

クレジット有効期限

- 購入したクレジットの有効期間は12ヶ月間です。
- 有効期限内に追加契約された場合には、既存クレジットの有効期限も最終契約日から12ヶ月後に延長されます。

利用制限

- 通訳時間に会議参加人数は関係ありません。
- 複数会議の同時開催は可能です。
- 契約された通訳時間を超過しての通訳利用は出来ません。
- 多言語通訳プランでは、1つの会議あたり言語数の制限なく通訳が可能です。

1 AIリアルタイム翻訳ツール選定のポイントは？

2 Wordlyの特長・強みは？

3 Wordlyをより効果的に使うためには？

【音声のアップロード方法】と【翻訳結果の表示方法】について、
会場の大さや、参加者の参加方法を踏まえて調整が必要



音声のアップロード方法



翻訳結果の表示方法

音声のアップロード方法

クリアな翻訳対象音声を、Wordlyサーバーまで安定した低遅延の通信回線でupload

留意点	検討項目
1. 翻訳対象音声の <u>ノイズ</u>	<p>音響設備との接続: <u>ラインアウト音声</u>をもらうことができるか？ (1ch以上) → もしラインアウト音声確保できない場合には、オーディオスピーカーの近くにマイク or Wordly Mobile Appをインストールした音声upload用スマホを配置し、聴講者の話声が入らないように音声キャプチャできるか？</p> <p>マイクのゲインコントロール: <u>講演者以外の音声</u>を拾わないか？ 未使用のマイクがミュートされているか？</p> <p>補足) BGMや拍手などはWordly側で無視するようにできるので、音響設備からのラインアウトは All-Mixの音声で基本的にOKです。講演者ごとに別chで音声uploadするときには高指向性のマイクや他の講演者の厳密なゲインコントロールが必要となります。</p>
2. <u>安定</u> した通信回線	<p>有線のインターネット回線を確保できるか？ (実効レートが上り 3Mbps 以上の回線) → 無線 (Wi-Fi)しか確保できない場合には、専用回線 (モバイルWi-Fi端末 and/or 5G携帯回線) の方が望ましい</p> <p>補足) ポイントは安定した接続と低レイテンシ (低遅延)の回線の確保 → 音声uploadが不安定でレイテンシが大きいと、それが全体のサービス品質低下につながる</p>

翻訳結果の表示方法



AI-Powered Translation

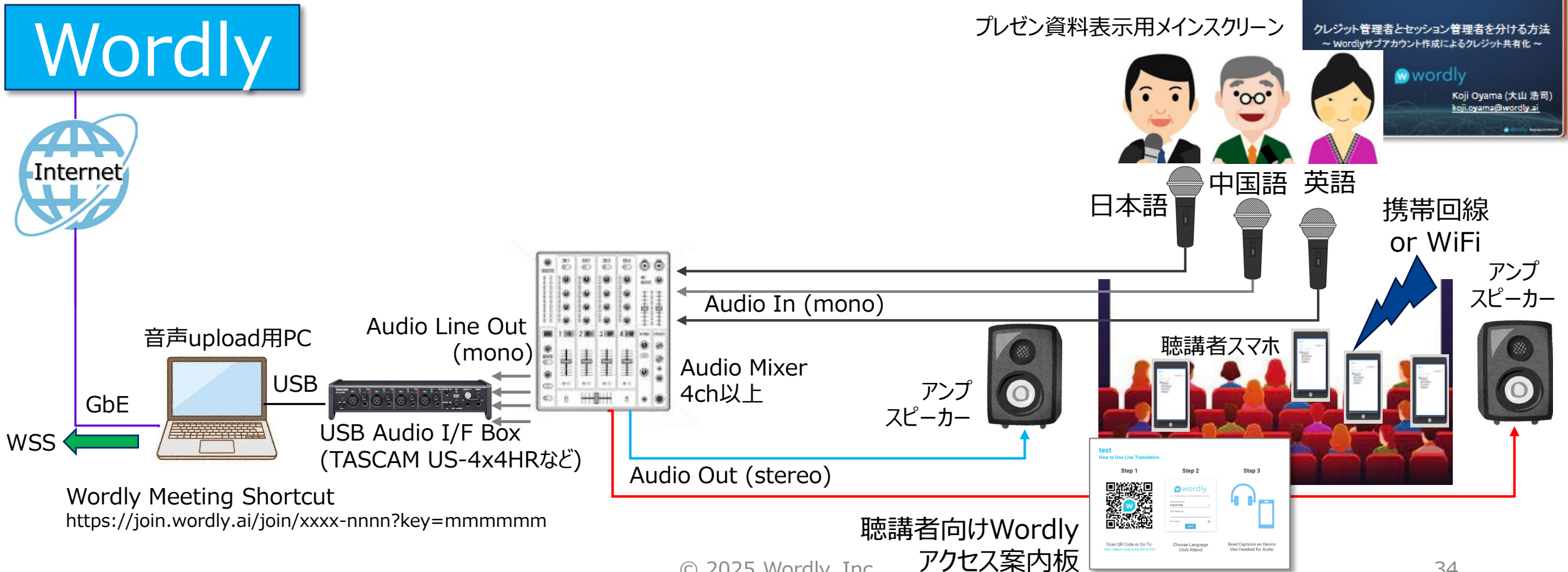
来場者満足度(ユーザ体験)、会場設備、設備コスト、運用コストを考慮し最適な方法を選択

表示方法	メリット	デメリット
1. 聴講者 各自のデバイス (スマートフォン/タブレット/PC/Mac) に翻訳を提供	<ul style="list-style-type: none">聴講者ごとに見たい言語で翻訳を見れる聴講者ごとにテキストで翻訳を読むのか、イヤホンで音を聴くのかを選択できる運営側の準備がもっとも簡単	<ul style="list-style-type: none">聴講者が多くなると、より費用の高いWordlyプランのクレジットが必要
2. 字幕スクリーン に翻訳結果を表示	<ul style="list-style-type: none">もっとも安価なWordlyプランのクレジットで運用が可能来場者が翻訳を簡単に見れる	<ul style="list-style-type: none">提供できる翻訳言語に限りがある (1~3言語)字幕スクリーンの設備費用が必要音声で翻訳は聴けない
2'. 1つのスクリーンを分割して翻訳字幕を表示する	<ul style="list-style-type: none">翻訳字幕用の専用スクリーンが設置できない環境にも対応可能	<ul style="list-style-type: none">画像合成するための機器・ツールが必要で追加コストがかかる1画面に複数表示するので、1つ1つが小さくなる (講演者スライドがみずらくなる)音声で翻訳は聴けない
3. 1と2の 両方 で翻訳提供 【推奨】	<ul style="list-style-type: none">もっともユーザーフレンドリーな方法Wordlyプランも場合によって1よりも抑えることができる	<ul style="list-style-type: none">字幕スクリーンの設備費用が必要字幕と聴講者各自のデバイスに翻訳提供するため、運営側の準備が大変

イベント向けWordly翻訳用機材例(1)



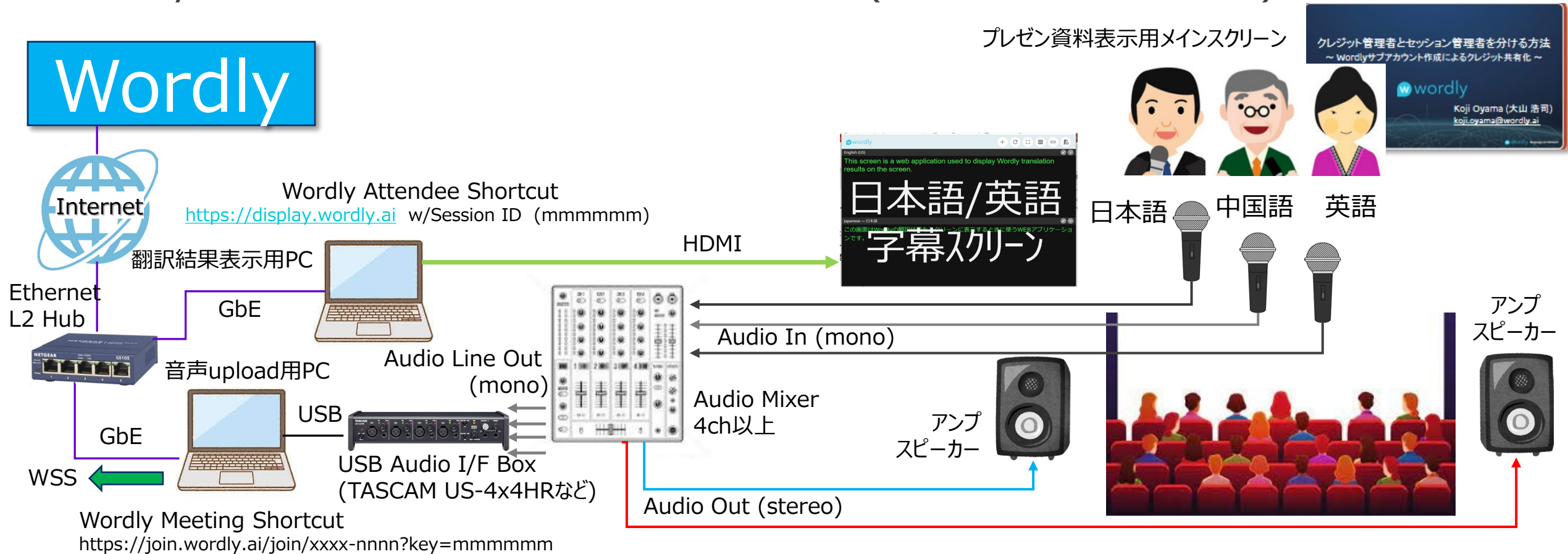
- 音声をWordlyにUpload: 音響機器→USB Audio I/F Box→PC→Wordly
- Wordly翻訳結果の表示: ②聴講者各自のスマホ (字幕スクリーンなし)



イベント向けWordly翻訳用機材例(2-1)

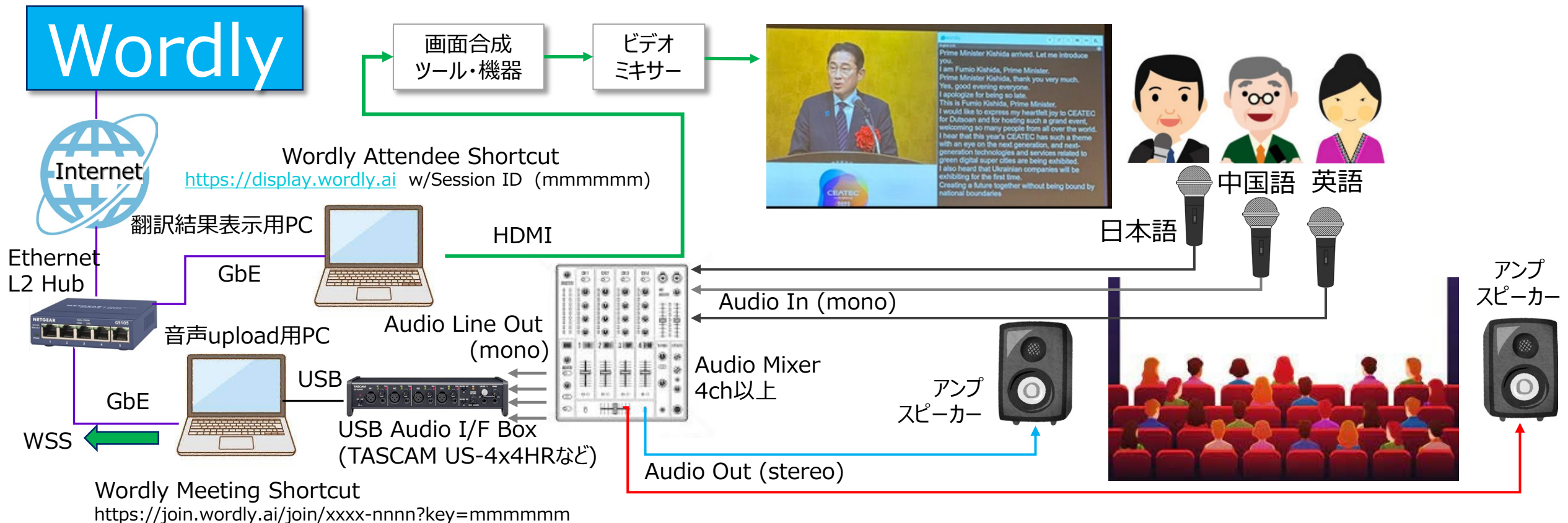


- 音声をWordlyにUpload: 音響機器→USB Audio I/F Box→PC→Wordly
- Wordly翻訳結果の表示: ① 字幕サブスクリーン (スマホへの翻訳提供なし)



イベント向けWordly翻訳用機材例(2-2)

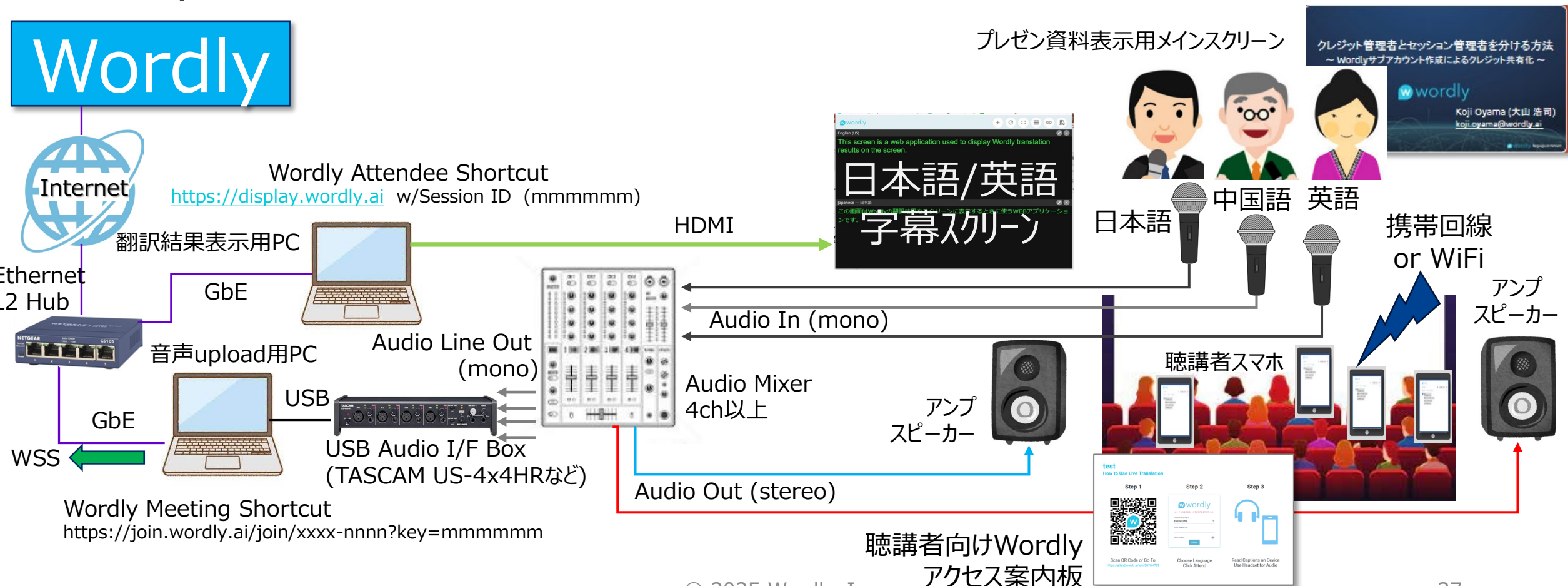
- 音声をWordlyにUpload: 音響機器→USB Audio I/F Box→PC→Wordly
- Wordly翻訳結果の表示: ① 字幕合成スクリーン (スマホへの翻訳提供なし)



イベント向けWordly翻訳用機材例(3-1)



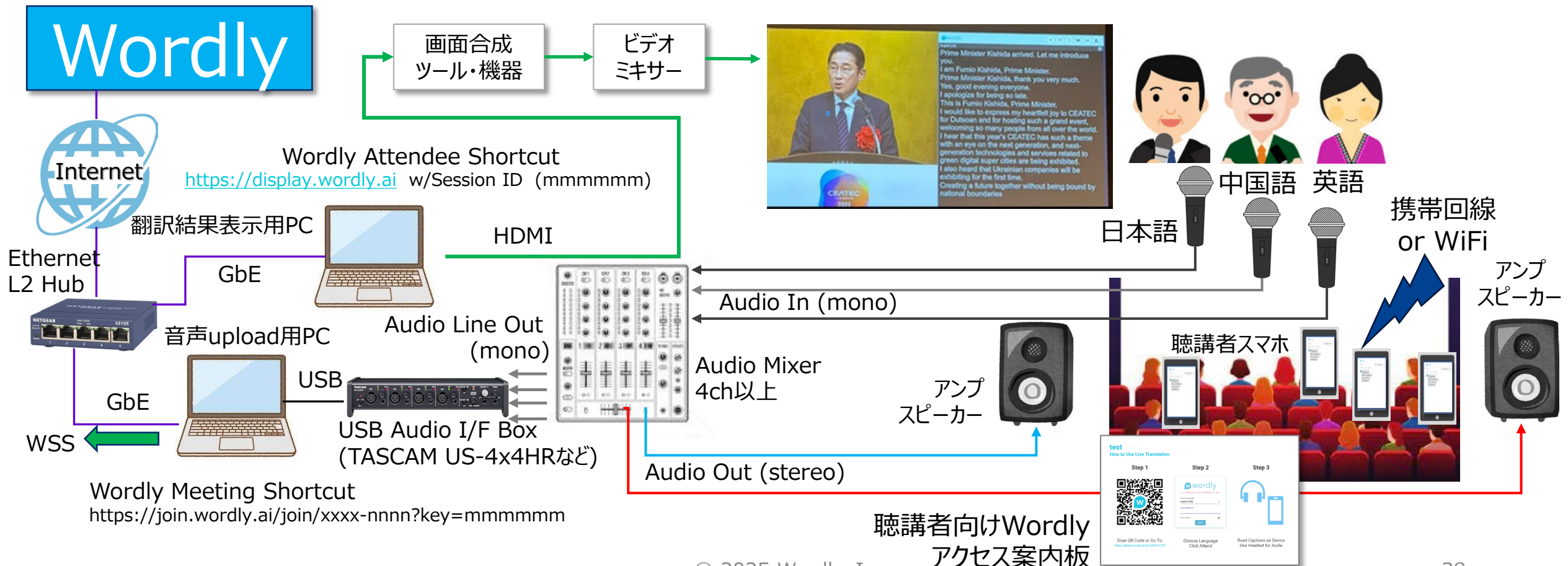
- 音声をWordlyにUpload: 音響機器→USB Audio I/F Box→PC→Wordly
- Wordly翻訳結果の表示: ① 字幕サブスクリーン、②聴講者各自のスマホ



イベント向けWordly翻訳用機材例(3-2)



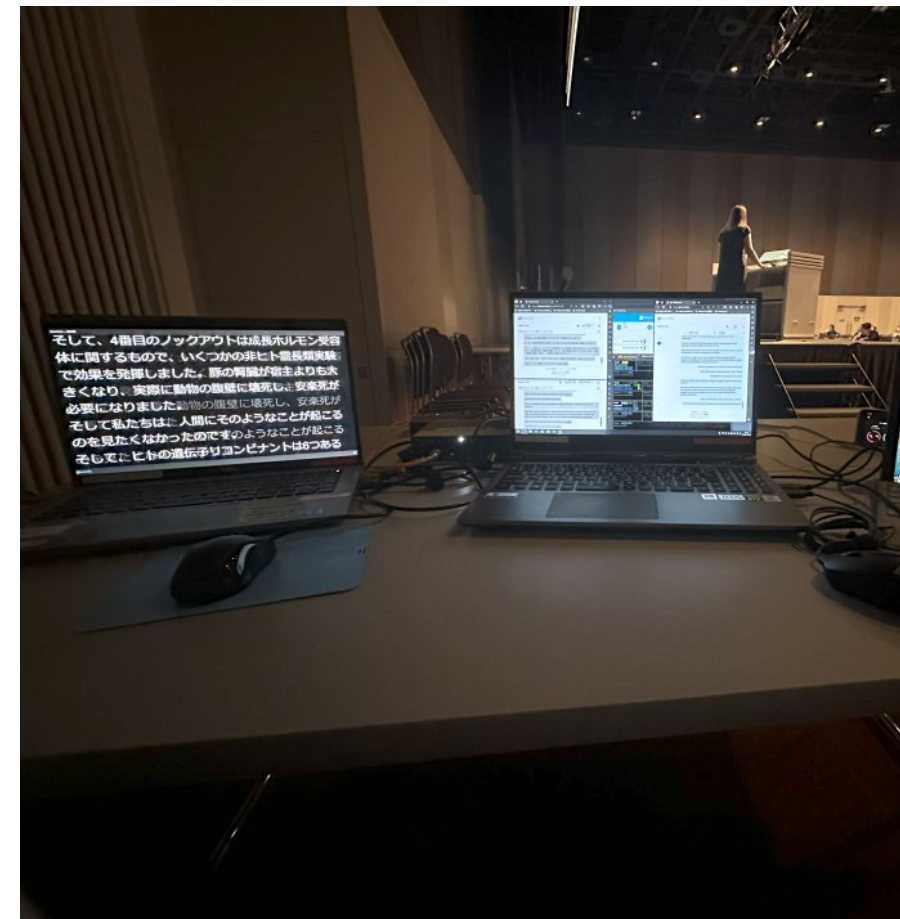
- 音声をWordlyにUpload: 音響機器→USB Audio I/F Box→PC→Wordly
- Wordly翻訳結果の表示: ① 字幕合成スクリーン、②聴講者各自のスマホ



イベント向けWordly翻訳用機材例（まとめ）

各部屋/会場/ステージごとに以下の機材を準備

- **Windows PC 2台**・・・COREi5/16GBメインメモリ エントリークラスPC
 - 各PCに**USBマウス**1つ ・Webブラウザ（他のソフトインストール不要）
 - 翻訳スクリーン表示する場合は、モニター・ビデオスイッチャに接続するための**HDMIケーブル 1本**
 - 翻訳のスクリーン表示がなければWin PCは1台でOK
- **USB Audio I/F Box 1台**
 - TASCAM US-4x4HR など
 - Audioミキサーと接続する**オーディオケーブル 1～4本**
 - AudioミキサーからAll-Mixを1chだけ出力する場合、1ch音声入力できるUSB Audio I/F BoxがあればOK
 - All-Mix音声に異なる言語の講演者の声が入力される場合、言語の切替えをする必要がある（自動 or 手動）
- **Internet有線回線**・・・Wi-Fi(無線)の場合、専用回線が望ましい
 - **GbE hub 1台**
 - **RJ45コネクタ CATケーブル 2本**



テーマ	概要
AI翻訳ツール選定のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ① 翻訳の精度・速さ→実演・テストユースを実施 ② 対応言語数→カタログスペックと制限の確認 ③ セキュリティー→システム要件とAI学習について確認 ④ 使い勝手→ユーザーと管理者の2つの視点で確認 ⑤ 運用支援→どのように運用していきたいかを要確認 ⑥ 費用→課金体系と利用シーンを確認
Wordlyの特長・強み	<ul style="list-style-type: none"> ① 翻訳の精度・速さ→高精度 ② 対応言語数→60言語以上、いつでも切り替え可能 ③ セキュリティー→SoC2 Type 2 取得。顧客データを学習に利用しない ④ 使い勝手→簡単3ステップで準備可能 ⑤ 運用支援→フォロー支援 ⑥ 費用→時間課金で流用性が高い
Wordlyをより効果的に利用するために	<ul style="list-style-type: none"> ① 音声のアップロード方法 クリアなノイズのない音声を、安定した低遅延の通信回線を使ってupload ② 翻訳結果の表示方法 聴講者各自のデバイス、字幕スクリーンへの翻訳提供 → ユーザ体験、会場設備、コスト(設備・運用)から最適な方法を選択

Wordly + 共創の可能性は**無限大**

使い方はみなさんのアイデア次第

- これまでにない言語の壁を越えたパネルディスカッションの実施
- 英語が苦手な業界の巨匠をゲストスピーカーとして招待
- わくわくするコラボレーションを企画
- 日本国内のイベントに海外からのお客さんを積極的に誘致 などなど



パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社

E-mail : sales-pisc@ml.jp.panasonic.com



※本資料に記載された社名および商品名などは、それぞれ各社の商標または登録商標です。